

静勝寺報

第44新年号

令和7年

1月1日発行

発行 静勝寺

編集 発行人

高崎忠道

年始にあたり、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

昨年、パリオリンピック、パラリンピックが開催され、多くの日本選手の活躍、メダルの獲得に、心躍り、歓喜されたと思います。さらに大谷選手の活躍にも我ことのように喜び、誇らしく感じました。皆様も同様だったのではないのでしょうか。彼は、その成績のすばらしさだけでなく、日頃の生活態度、言動などからも尊敬され、かつだから愛される親しみやすさを感じます。だからこそ、いち早くチームに溶け込み、チームをワールドチャンピオンに導き、この偉大な個人成績につながったのだと思います。常に己を律し、トレーニングを怠らず、シーズン当初の通訳の不祥事にもめげず、調子が悪い時、よい結果でない時でも、焦らず、慌てることなく冷静に対処していく姿、調子が良い時、好成績の時でも驕らずさらに一步を進めていくこととする姿、チームのために精神的にも盛り上げていく姿に、また、さりげなくごみを拾い、笑顔で話す姿に、偉大な存在であり、親しみやすさを感じる人物です。日本人のみならず誰もが感動し、歓喜し、尊敬しあがれる存在であり、皆に幸せ、希望を与える存在と言ってもいいでしょう。

私はその姿にお釈迦様が重なります。お釈迦様は、常に己を律し、お悟りをひらかれた偉大な存在でありながら、誰にでも対等に敬意をもって接し、相手に合った話をなされて、時には叱咤激励し、皆を幸せに導かれました。

「威儀即仏法作法是宗旨（いぎそくごぼぼうさほうこれしゅうしなり）」という禅語があります。「威儀」は、身なりや所作を意味しますが、それが「仏法」お釈迦様の教え「だといふのです。つまり、私たちの姿や形、日常生活のすべての言動、所作がそのまま仏法であることになります。ですが、「ありのままの姿が仏法なのだから、怒ろうが、さぼろうが、何をしてもいいのだ」という意味ではありません。言動、行動すべてが仏法であるからこそ、我々はお釈迦様の教えに従い、呼吸を整え、身を整え清潔にし、言葉を発し、行動し日常生活を送っていくことが大事であるという意味です。身と心、肉体と精神は一体です。身や行動を整えていけば、おのずと心も整うことになります。それが仏法であることになります。

「作法」は「存在に対する正しい態度の取り方」（永平寺国際部部长 峰岸老師の話）です。人にも物に対しても、何事をするにも、敬いの心、感謝の気持ちをもって接する、言動、行動、一挙手一投足をぞんざいにせず、丁寧に行動。それが「存在に対する正しい態度の取り方」であり、「宗旨」お釈迦様の教え「である。丁寧」に人に接するとは、相手を見下したり、逆にへりくだったりもせず、敬いの気持ちをもって対峙することでしょう。物に対しても乱暴に扱わない、粗末にしないことです。もちろん自分自身に対しても同じで、暴饮暴食をさけ、睡眠不足にならないようにし、自らを卑下したりせず、身体を大事にしていく、かといって甘やかすすぎず、自分を律していく、それが自らを大切にすることです。大谷選手は、まさに「威儀即仏法作

法是宗旨」を体現していると思います。

皆様も、仕事や家事、子育てにと一生懸命に勤め、丁寧になさっておいでだと思っても思い通りにいかない時や忙しい時、イライラしたり、ついぞんざいに扱ったり、投げやりにしたりしていませんか。私も、面倒なことはつい後回しにしてためてしまい、最後はいい加減に済ましたり、人の話を真剣に聞くことができなかったり、使ったものをもとに戻さず散らかし、次に使うとき探すのに苦労したりしています。あるいはスマホをつい見すぎて睡眠不足になり、なかなか自分を律することができません。そういう時こそ呼吸を整え自らを律し、何事も丁寧に行うよう心がけるのです。ちなみに、丁寧に呼吸するの「坐禅」です。身を清潔にし、良い姿勢をとり、丁寧な呼吸に心がける、さすれば自ずと心も整う、それが坐禅なのです。

昨年「日本原水爆被害者団体協議会」がノーベル平和賞を受賞しました。大変喜ばしいことですが、いまだ日本政府は核兵器禁止条約に署名批准していませんし、ウクライナやパレスチナの戦争の終息は見えず、各地で紛争は絶えません。核兵器を使っても仕方がないという雰囲気広がっています。能登地震から1年たちますが、いまだ発災当時のままの所も多く、さらに関連死者数が直接死者数を上回ったそうです。これは避難所生活の長期化、復旧の遅れが原因です。

誰もが、「威儀即仏法作法是宗旨」の精神をもって、相手を敬い、丁寧に接し、行動していけば戦争のない世界、住みよい世の中になるはずで、常に、呼吸を整え、身を整えてより丁寧に過ごしていきましょう。



チャリティー落語会

下町グリーンサポート響和国と共催で能登半島災害義援チャリティー落語会を開催しました。立川談慶師匠、立川公四楼さんの落語を楽しみました。笑いの中に人生の教訓が織り込まれ、芸のすばらしさを感じました。当日寄付金は 137,600 円集まり、グリーンサポート響和国、グリーンパートナー歩み、と静勝寺で合わせて 20 万円を日本赤十字社を通して寄付しました。皆様ありがとうございました

氏神様の香取神社大祭

5年ぶりにお神輿が出ました



秋の実り



←むかご↑柚↑上段、銀杏干し
↓紅葉例年よりきれいでした。
ゆず、みかん狩り↓

今後の予定

- 元旦法要 1月1日(水)朝6時
- 亀ヶ池弁才天節分会 2月2日(日)午後3時
- 豆まき(予定)
- 春季彼岸会法要 3月20日(木・中日) 午前11時 お話と法要(予定)
- 土曜坐禅会 毎月第一土曜午後2時半～4時半 定員45名(予約制) 1月は11日
- 写経会 毎月第二土曜午後2時半～4時半 定員30名(予約制) 1月は18日
- うたの会 毎月第四土曜午後2時半～4時 定員30名(予約制) 1月は25日
- 日曜坐禅会 毎週日曜朝6時～6時45分
- 朝の会(読経と話) 毎週日曜6時45分～7時半 坐禅会、朝の会ともに定員45名(予約制)
- 永平寺参拝旅行 6月8～9日予定
- ピアノ教室 体験レッスンあります。予定が変更する場合があります。ホームページでの確認、あるいは電話でお問い合わせください。



↑ ピアノウインターコンサート
みんな楽しくピアノを演奏し歌いました。



静勝寺ホームページ
<http://joshoji1486.sakura.ne.jp/>
坐禅会、写経会、うたの会の予定
はこちらでご確認ください



Instagram@jozanchudo
四季折々の境内の写真を載せて
います。

回数	年	回数	年	回数	年	回数	年
一周忌	令和6年	二周忌	令和5年	三周忌	令和4年	四週忌	令和3年
五週忌	令和2年	六週忌	令和1年	七週忌	令和0年	八週忌	平成29年
九週忌	平成28年	十週忌	平成27年	十一週忌	平成26年	十二週忌	平成25年
十三週忌	平成24年	十四週忌	平成23年	十五週忌	平成22年	十六週忌	平成21年
十七週忌	平成20年	十八週忌	平成19年	十九週忌	平成18年	二十週忌	平成17年
二十一周忌	平成16年	二十二週忌	平成15年	二十三週忌	平成14年	二十四週忌	平成13年
二十五週忌	平成12年	二十六週忌	平成11年	二十七週忌	平成10年	二十八週忌	平成9年
二十九週忌	平成8年	三十週忌	平成7年	三十一週忌	平成6年	三十二週忌	平成5年
三十三週忌	平成4年	三十四週忌	平成3年	三十五週忌	平成2年	三十六週忌	平成1年
三十七週忌	昭和51年	三十八週忌	昭和50年	三十九週忌	昭和49年	四十週忌	昭和48年

お問い合わせ、お申し込みは
03-3900-4455 まで

施餓鬼会日時移動のお知らせ

当山施餓鬼会は、長年7月9日に行っていました。しかし、近年は温暖化の影響が大変暑い日が多くなりました。当日お参りにいらつしやるのも大変で、具合が悪くなる方も出るやもしれません。そこで少しでも涼しい時期にと考え、5月30日に変更しようと思ひます。また近くなりましたらご連絡いたしますが、ご予定に入れておいていただければ幸いに存じます。何卒ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。